

重賞・新馬戦プレイバック(12月15日・9R)
重賞 第50回 中日杯

フィナーレにふさわしい・大熱戦!



雪の影響で一日遅れた中日杯
また雪が残る中、1角ポットからの
スタート。こから駆け引きが始まる

直線で⑩ジャングルスマイル以下を
引き離す④ケージーキンカメ



水沢タービGPから金沢に戻り
再び古馬相手の重賞・中日杯へ
11月北國王冠の結果から、今は
逆に胸を貸す立場だったが...



北國王冠では3歳馬ケージーキンカメに
1馬身差の後塵もまた“世代交代”の
風を承諾する訳には...。幸い?シーズン
最終重賞の今回で枠順は外を引き当て
た。ジャングル陣営に秘策あり!?



15連勝はならなかったが、却って
重圧から解き放たれ自然体で
臨める中日杯。鍵は父クロフネ
から不安視される2300g



闘い終え観客外す!

今年の金沢競馬のフィナーレを飾る中日杯。まさにその年の集大成。過去にホシオー、テンリットル、タートルベイ、ナムラダイキチ、サミットストーンと様々な主役がドラマを演じてきた。はたして今年は3歳馬が絶対的・主役。ただ、そう簡単に世代交代はさせぬとジャングルスマイル。11月の北國王冠の雪辱を晴らす意気込みで臨んできた。くしくも枠順は北國王冠と内外逆転。何かが起こりそうな雰囲気だった。一日順延となった15日の再スタート。外枠を引いた⑩ジャングルスマイル・平瀬は控えた。⑧ケージーアメリカンが行って、2番手は大本命の3歳馬④ケージーキンカメ。その時点で⑩ジャングルスマイルの作戦が見えてきた。④ケージーキンカメを押し出してプレッシャーを掛ける腹づもり。作戦は頭に当る。2周目1角から⑩ジャングル・平瀬は④Kキンカメに馬体を併せ押し出し気味に動く。3角では外から先頭に立つ勢い。ただ、それでも3歳馬は動じない。直線に向くと一歩一歩引き離していった。